# 看護職員の労働実態調査結果

# 愛知県

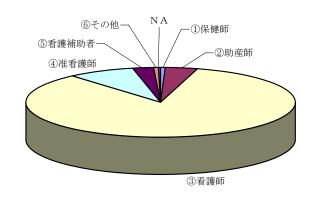
# 日本医労連集約・2006年1月作成

問1 職種

	人数	%	医労連
①保健師	22	0.5	0.7
②助産師	164	3.9	3.6
③看護師	3, 532	84. 2	79.4
④准看護師	336	8.0	9.7
⑤看護補助者	108	2.6	4.2
⑥その他	24	0.6	2.2
NA	10	0.2	0.3
計	4, 196	100.0	100.0

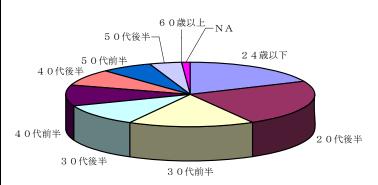
注1) 本調査は、「看護職員の労働実態調査」であり、問1以外の 設問はすべて、①~④の看護職員のみを対象に集計した

注2) 「医労連」とは、日本医労連全体の率である。間2以降もすべて同じ



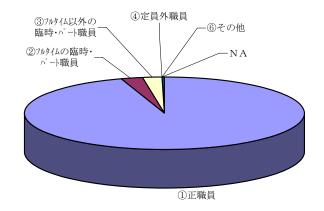
#### 問2 年齢

	人数	%	医労連
24歳以下	740	18.3	14.7
20代後半	951	23.5	20.2
30代前半	662	16. 3	15.7
30代後半	453	11.2	12.5
40代前半	421	10.4	11.0
40代後半	343	8.5	10.6
50代前半	272	6. 7	9.0
50代後半	164	4.0	4.5
60歳以上	8	0.2	0.4
NA	40	1.0	1.5
計	4,054	100.0	100.0
平均年齢	34. 3歳		35.9歳
最 高	64歳		72歳
中 位	32	34歳	
最 低	20	20歳	



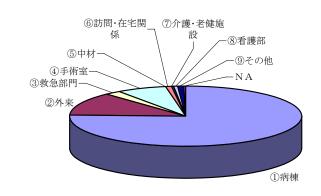
#### 問3 雇用形態

	人数	%	医労連
①正職員	3,853	95.0	93. 9
②フルタイムの臨時・パート職員	100	2.5	3.4
③フルタイム以外の臨時・パート職	86	2. 1	2.3
④定員外職員	4	0.1	0.1
⑤下請・派遣関係			0.0
⑥その他	3	0.1	0.2
NA	8	0.2	0.2
計	4,054	100.0	100.0



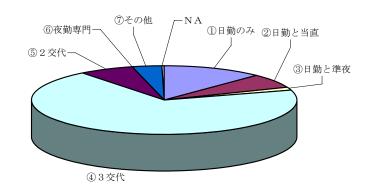
#### 問4 職場

	人数	%	医労連
①病棟	3, 067	75. 7	71.8
②外来	504	12.4	14.3
③救急部門	90	2.2	2.0
④手術室	281	6.9	5. 2
⑤中材	5	0.1	0.1
⑥訪問·在宅関係	31	0.8	3.0
⑦介護・老健施設	14	0.3	0.6
⑧看護部	14	0.3	0.6
9その他	39	1.0	2.2
NA	9	0.2	0.1
計	4,054	100.0	100.0



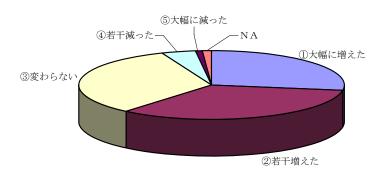
# 問5 勤務形態

	人数	%	医労連
①日勤のみ	493	12.2	15.3
②日勤と当直	269	6.6	7.9
③日勤と準夜	64	1.6	3.0
④ 3 交代	2, 796	69.0	65.6
⑤ 2 交代	272	6.7	5. 4
⑥夜勤専門	2	0.0	0.1
⑦その他	150	3. 7	2.6
NA	8	0.2	0.1
計	4,054	100.0	100.0



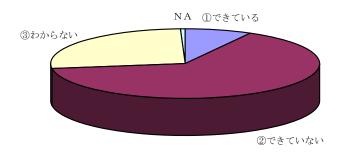
#### 問6 看護業務量

	人数	%	医労連
①大幅に増えた	1, 112	27.4	28.7
②若干増えた	1, 371	33.8	34.0
③変わらない	1, 324	32. 7	31.1
④若干減った	169	4.2	4. 1
⑤大幅に減った	31	0.8	0.6
NA	47	1.2	1.5
計	4,054	100.0	100.0
再掲・増えた (①+②)	2, 483	61.2	62.7



#### 問7 十分な看護の提供

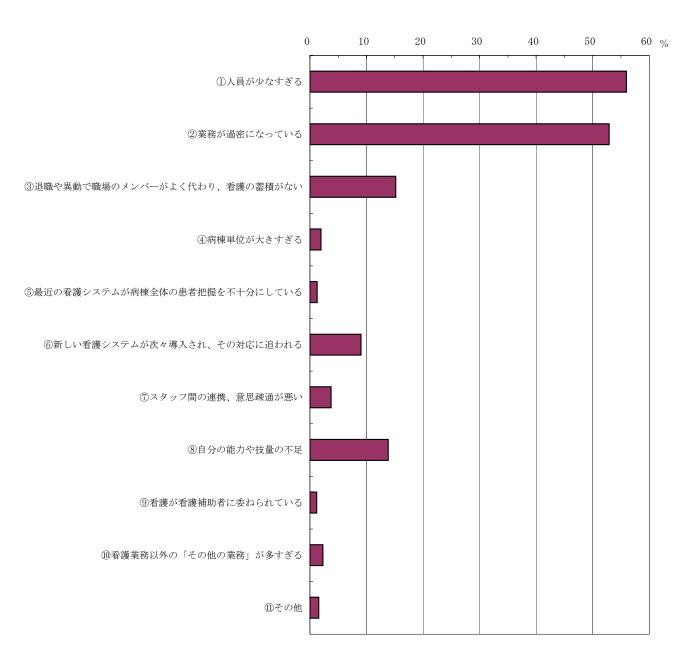
	人数	%	医労連
①できている	330	8. 1	8. 1
②できていない	2,617	64.6	65. 3
③わからない	1,088	26.8	25.8
NA	19	0.5	0.8
計	4,054	100.0	100.0



# 問8 できていない理由(2つまで選択可)

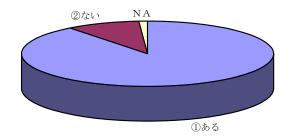
	人数	%	医労連
①人員が少なすぎる	1,464	55. 9	55. 7
②業務が過密になっている	1, 384	52. 9	53.9
③退職や異動で職場のメンバーがよく代わり、看護の蓄	397	15. 2	11.8
④病棟単位が大きすぎる	51	1.9	2.8
⑤最近の看護システムが病棟全体の患者把握を不十分に	33	1.3	1.9
⑥新しい看護システムが次々導入され、その対応に追わ	236	9.0	10.6
⑦スタッフ間の連携、意思疎通が悪い	98	3. 7	4.5
⑧自分の能力や技量の不足	362	13.8	13.9
⑨看護が看護補助者に委ねられている	31	1.2	1.0
⑩看護業務以外の「その他の業務」が多すぎる	60	2. 3	2.6
⑪その他	41	1.6	1.9
NA	112	4. 3	4.9
対 象 者 数	2,617		

注) この設問の対象者は、問7で「②できていない」と回答した人



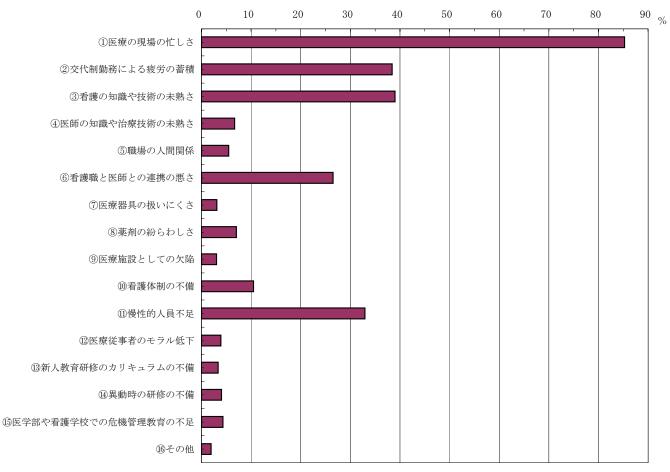
#### 問9 この3年間のミスやニアミス

	人数	%	医労連
①ある	3,621	89.3	86. 1
②ない	393	9.7	12.5
NA	40	1.0	1.4
<b>≅+</b>	4,054	100.0	100.0



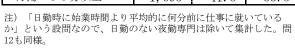
# 問10 医療事故が続発している原因 (3つまで選択可)

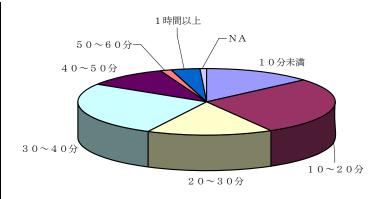
	人数	%	医労連
①医療の現場の忙しさ	3, 456	85.2	84. 1
②交代制勤務による疲労の蓄積	1,557	38.4	35. 9
③看護の知識や技術の未熟さ	1,581	39.0	38. 4
④医師の知識や治療技術の未熟さ	271	6. 7	6.6
⑤職場の人間関係	222	5. 5	5.8
⑥看護職と医師との連携の悪さ	1,075	26.5	24. 2
⑦医療器具の扱いにくさ	126	3. 1	2.9
⑧薬剤の紛らわしさ	285	7.0	7.9
⑨医療施設としての欠陥	123	3.0	3. 2
⑩看護体制の不備	425	10.5	14. 1
⑪慢性的人員不足	1, 335	32.9	33.5
⑫医療従事者のモラル低下	158	3.9	4.6
⑬新人教育研修のカリキュラムの不備	136	3. 4	3. 1
④異動時の研修の不備	163	4.0	4.2
⑤医学部や看護学校での危機管理教育	175	4.3	3. 5
⑯その他	79	1.9	2.0
NA	52	1.3	1.7
対 象 者 数	4,054		



#### 問11 始業時間前の労働(前残業)

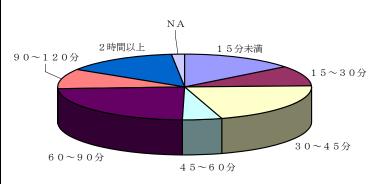
	人数	%	医労連
10分未満	546	13.5	19.4
10~20分	1, 143	28. 2	32.0
20~30分	639	15.8	14.4
30~40分	1,074	26. 5	23. 1
40~50分	418	10.3	6.6
50~60分	57	1.4	1.2
1 時間以上	146	3.6	2.6
NA	29	0.7	0.8
計・対象者数	4, 052	100.0	100.0
平均時間	22.	6分	19.5分
再掲・30分以上	1,695	41.8	33.5





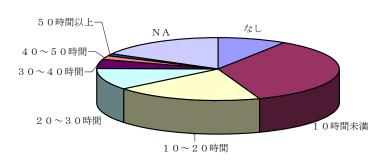
# 問12 終業時間後の労働 (後残業)

	人数	%	医労連
15分未満	589	14. 5	15.5
15~30分	398	9.8	9.8
30~45分	848	20.9	24. 5
45~60分	199	4.9	4.0
60~90分	967	23. 9	24.3
90~120分	403	9.9	8.5
2時間以上	579	14. 3	11.3
NA	69	1.7	2. 1
計・対象者数	4,052	100.0	100.0
平均時間	54.7分		50.5分
再掲・1時間以上	1, 949	48. 1	44. 1



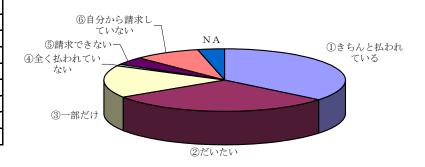
#### 問13 先月の残業時間

	人数	%	医労連
なし	376	9.3	10.0
10時間未満	1, 422	35. 1	36.6
10~20時間	803	19.8	18.0
20~30時間	450	11.1	8.8
30~40時間	192	4. 7	3. 7
40~50時間	84	2. 1	1.3
50時間以上	38	0.9	1.2
NA	689	17.0	20.4
計	4,054	100.0	100.0
平均時間	10.9	時間	10.1時間
再掲・20時間以上	764	18.8	15.0



# 問14 残業代

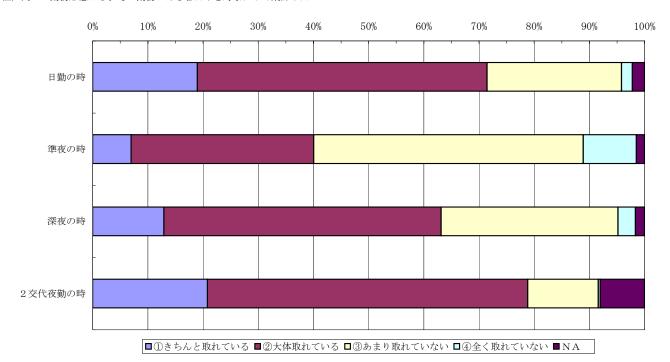
	人数	%	医労連
①きちんと払われている	1, 451	35.8	41. 1
②だいたい	1, 213	29. 9	27.7
③一部だけ	682	16.8	12.5
④全く払われていない	34	0.8	1.2
⑤請求できない	172	4. 2	4.3
⑥自分から請求していな	360	8.9	9.5
NA	142	3. 5	3. 7
計	4,054	100.0	100.0



# 問15 休憩時間

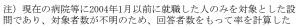
	日勤	の時	医労連	準夜	の時	医労連	深夜	の時	医労連	2 交代征	返勤の時	医労連
①きちんと取れている	768	19.0	20.6	199	7. 0	8. 7	361	12.9	14. 5	57	20.8	14. 6
②大体取れている	2, 128	52. 5	53. 9	947	33. 1	34. 1	1,406	50.3	48.4	159	58.0	51.6
③あまり取れていない	987	24. 4	21. 1	1, 398	48.8	46. 1	896	32.0	29. 9	35	12.8	19. 1
④全く取れていない	80	2.0	1.8	276	9.6	8.3	89	3. 2	4. 2	1	0.4	2.3
NA	89	2.2	2.6	42	1.5	2.8	46	1.6	3.0	22	8.0	12. 5
計・対象者数	4,052	100.0	100.0	2,862	100.0	100.0	2, 798	100.0	100.0	274	100.0	100.0

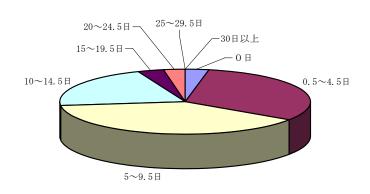
注) 問5・勤務形態から、その勤務がある者だけを対象にして集計した



#### 問16 年次有給休暇の昨年取得日数

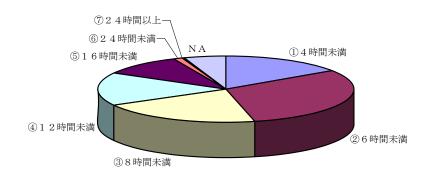
	人数	%	医労連
0 日	98	3. 2	6.0
0.5~4.5日	967	31.3	25.0
5~9.5日	1, 196	38. 7	26.6
10~14.5日	645	20.9	24. 2
15~19.5日	97	3. 1	10.1
20~24.5日	85	2.7	7. 5
25~29.5日	2	0.1	0.3
30日以上	2	0.1	0.4
計・回答者数	3, 092	100.0	100.0
平均取得日数	6.6日		8.2日
再掲・5日未満	1,065	34. 4	30.9





#### 問17 先月最も短かった勤務間隔

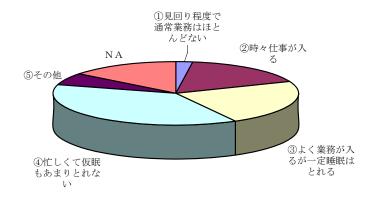
	人数	%	医労連	夜勤・当直者のみ		医労連
①4時間未満	630	15. 5	7. 9	604	17. 7	9. 1
②6時間未満	1, 253	30.9	21.5	1,214	35. 7	25. 1
③8時間未満	836	20.6	20.7	751	22. 1	23.0
④12時間未満	650	16.0	22.7	473	13. 9	22.4
⑤16時間未満	416	10.3	17.9	234	6. 9	14. 2
⑥24時間未満	42	1.0	1.2	2	0.1	0.2
⑦ 2 4 時間以上	10	0.2	0.4	1	0.0	0.1
NA	217	5. 4	7.6	124	3.6	5. 9
計	4,054	100.0	100.0	3, 403	100.0	100.0
再掲・8 時間未満(①~③	2,719	67. 1	50.1	2, 569	75. 5	57. 2



#### 問18 当直時の仕事

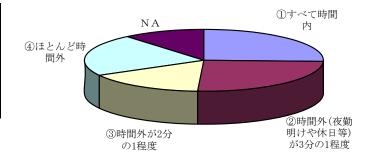
	人数	%	医労連
①見回り程度で通常業務は	6	2.2	1.5
②時々仕事が入る	45	16. 7	13. 1
③よく業務が入るが一定睡	62	23.0	28.0
④忙しくて仮眠もあまりと	101	37.5	37.8
⑤その他	16	5.9	6.8
N A	39	14. 5	12.7
計・対象者数	269	100.0	100.0

注) 当直勤務のある人のみを対象に集計した



# 問19 委員会・研修の開催

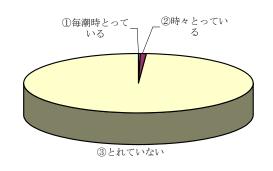
	人数	%	医労連
①すべて時間内	1,031	25. 4	20.4
②時間外(夜勤明けや休日等	1,030	25. 4	23.8
③時間外が2分の1程度	658	16. 2	15.9
④ほとんど時間外	890	22.0	27.0
NA	445	11.0	13.0
計	4,054	100.0	100.0



#### 問20 生理休暇の取得

	人数	%	医労連
①毎潮時とっている	6	0.2	10.3
②時々とっている	31	0.9	3.0
③とれていない	3,607	99.0	86. 7
計・回答者数	3,644	100.0	100.0

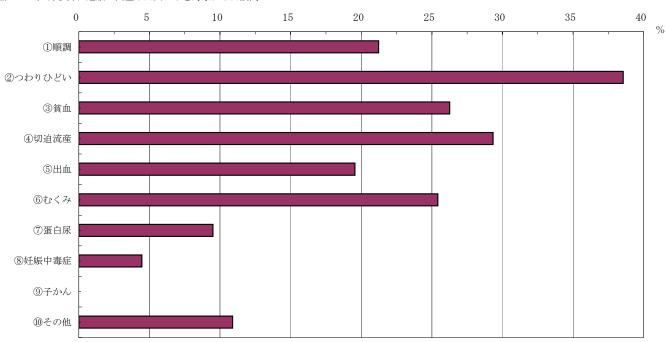
注)今回は性別を聞く設問を設けなかったため、回答者数で集計した



# 問21 妊娠の状況 (該当項目はすべて選択)

	人数	%	医労連
<ul><li>①順調</li></ul>	76	21.2	20.1
②つわりひどい	138	38.5	38.4
③貧血	94	26. 3	22.9
④切迫流産	105	29.3	31.1
⑤出血	70	19.6	18.7
⑥むくみ	91	25.4	24.0
⑦蛋白尿	34	9.5	9.8
⑧妊娠中毒症	16	4.5	4. 9
⑨子かん			0.3
⑩その他	39	10.9	10.5
回答者数	358		·

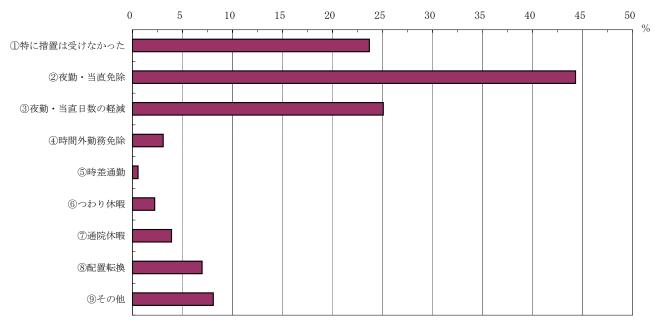
注) 2002年4月以降に妊娠・出産した人のみを対象にした設問



# 問22 妊娠時に受けた保護・支援措置 (該当項目はすべて選択)

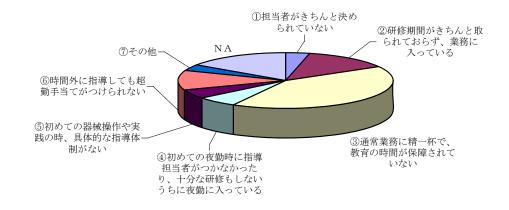
	人数	%	医労連
①特に措置は受けなかった	85	23. 7	24.0
②夜勤・当直免除	159	44. 3	49.8
③夜勤・当直日数の軽減	90	25. 1	16.3
④時間外勤務免除	11	3. 1	5.8
⑤時差通勤	2	0.6	2.5
⑥つわり休暇	8	2. 2	4.7
⑦通院休暇	14	3. 9	9.6
⑧配置転換	25	7. 0	5.6
⑨その他	29	8. 1	7.6
回 答 者 数	359		





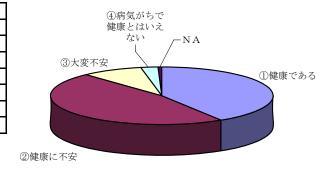
#### 問23 新人教育で最も問題だと思うこと

	人数	%	医労連
①担当者がきちんと決められていない	149	3. 7	4.4
②研修期間がきちんと取られておらず、業務に入っている	524	12.9	14.5
③通常業務に精一杯で、教育の時間が保障されていない	1,677	41.4	38. 1
④初めての夜勤時に指導担当者がつかなかったり、十分な研修もしないうちに夜勤に入-	255	6.3	5. 5
⑤初めての器械操作や実践の時、具体的な指導体制がない	209	5. 2	4. 7
⑥時間外に指導しても超勤手当てがつけられない	462	11.4	8.8
⑦その他	144	3.6	3.5
NA	634	15.6	20.4
計	4,054	100.0	100.0



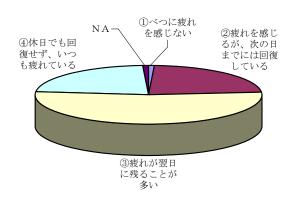
#### 問24 健康状態

	人数	%	医労連
①健康である	1,665	41.1	34. 4
②健康に不安	1,910	47.1	50.0
③大変不安	358	8.8	11.5
④病気がちで健康とはいえない	98	2.4	3. 2
NA	23	0.6	0.9
計	4,054	100.0	100.0
再掲・健康不安 (②~④)	2, 366	58.4	64. 7



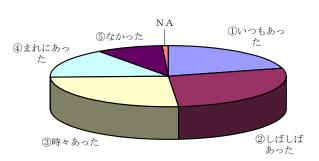
# 問25 疲れの回復具合

	人数	%	医労連
①べつに疲れを感じない	39	1.0	1.0
②疲れを感じるが、次の日までには回	919	22.7	20.3
③疲れが翌日に残ることが多い	2, 152	53. 1	52. 1
④休日でも回復せず、いつも疲れてい	914	22.5	25. 5
NA	30	0.7	1. 1
計	4,054	100.0	100.0
再掲・慢性疲労 (③~④)	3,066	75.6	77. 6



# 問26 仕事をやめたいと思うこと

人数	%	医労連
846	20.9	20.3
1, 120	27.6	27. 1
1,051	25.9	25. 7
630	15. 5	16. 3
372	9. 2	9.3
35	0.9	1.2
4,054	100.0	100.0
3,017	74. 4	73. 1
	846 1, 120 1, 051 630 372 35 4, 054	846 20.9   1,120 27.6   1,051 25.9   630 15.5   372 9.2   35 0.9   4,054 100.0



# 問27 仕事をやめたいと思う理由

	人数	%	医労連
①仕事の達成感がないから	731	24. 2	22.0
②本来の看護ができないから	704	23. 3	17.4
③医療・看護の高度化についていけないから	275	9. 1	9. 5
④仕事が忙しすぎるから	1, 353	44.8	37.0
⑤夜勤がつらいから	616	20.4	14. 1
⑥休暇が取れないから	422	14.0	10.3
⑦賃金が安いから	318	10.5	11.5
⑧病気がち、健康不安だから	121	4.0	4.0
⑨人間関係が楽しくないから	361	12.0	9.9
⑩上司と合わないから	145	4.8	4.0
⑪家族に負担をかけているから	323	10.7	9. 5
⑫子供がほしいから	57	1.9	1. 1
⑬家族の介護のため	37	1.2	0.9
<b>④</b> その他	195	6. 5	6. 2
NA	32	1.1	2. 1
対 象 者 数	3, 017		

注) この設問の対象者は、問26で①~③と回答した人

